闘灯 ともしび

BUNKAI NEWS

４月３０日（日曜日）

発行責任　石橋康裕
編集責任　教宣部

仲間の団結の温もりを大切に闘いの強化

戦争への「道」が加速する現実
何故政権の支持率が上がるの？

盲目的にウクライナへの支援を進めて
なりふり構わず「軍備増強」へ加速する

「防衛増税」が大きなテーマになる中で今一度考えなければなりません！ 戦後日本の平和主義を投げ捨てる暴挙を許さない！

後半国会の大きなテーマ

「防衛増税」が言われています。

立憲・維新・国民のマスコミ・世間的には野党と言われている３党は、「安易な増税に反対」する方針で一致しています。

しかし、単に「財源論」の話で終わらせる問題ではないはずです。

戦後の日本が守り続けてきた「平和主義」から「軍国主義」への大転換となる極めて危険な動きであることを私たちはしっかりと受け止めて様々な取り組みや運動を展開していかなければなりません！

昨年末の「徹子の部屋」にゲスト出演したタモリさんが黒柳徹子さんから「貴方は来年どんな年になると思いますか？」と問われた際にタモリさんが「日本の戦前が始まる年になるような気がします」と答えています。

多くの戦争を経験した先輩が多くの警鐘を鳴らしています。

サミットで脚光を浴び、米国から褒められるために、ロシアによる侵略行為も利用して、「異次元の軍国化」を推し進めようとしているのが、岸田首相です。

大手メディアもこうした事実や危機を伝えないばかりか、こうした動きに巻き込まれてしまっています。

大手メディアは安保３文書の改定に加わり、軍事立国を支援する側に回っています。今私たちの周りは、「戦前」が迫っています。